

～見て・体験して・遊んで学べる～

三好市 防災フェア



10月18日(日)にフレスポ阿波池田駐車場内において、三好市防災フェアを開催いたします。

防災に関する各種展示や体験などを通じて、子供から大人まで幅広い年齢層が防災意識を深め、「見て・体験して・遊んで学べる」イベントです。皆さまのお越しをお待ちしています。

【日時】
平成27年10月18日(日)
11時～15時

【場所】
フレスポ阿波池田駐車場内
(池田町サラダ1612-2)

【主な出展内容】

- ▽体験コーナー
 - ・土石流3Dシアター
 - ・降雨体験
 - ・地震体験車など



- ▽展示コーナー
 - ・災害記録写真パネル展
 - ・家庭で備える非常用品
 - ・パトカー、消防車両、自衛隊車両など
- ▽啓発・相談コーナー
 - ・住宅耐震相談など

【参加費】

無料

【主催】

三好市

【協力機関】三好警察署、みよし広域連合消防本部、自衛隊徳島地方協力本部、徳島県西部総合県民局(美馬庁舎)、国土交通省徳島河川国道事務所、国土交通省四国山地砂防事務所、フレッセ、建築士会(独)水資源機構、徳島地方気象台

【お問い合わせ先】

三好市役所危機管理課
☎72・7625

防災月間に各種団体が研修 災害に備えて 防災訓練



「防災の日」の9月1日、県と県西部2市2町の主催で県総合防災訓練が三好市と美馬市にまたがる「西部健康防災公園」予定地で行われました。訓練は、台風による大雨の影響で地盤が緩む中、南海トラフ大地震が発生し、土砂災害で道路の寸断や停電が相次いだとの想定で行われ、警察、消防、自衛隊など122機関から約1000人が参加し、孤立集落からの救助を中心に災害対応について連携を確認しました。

会場では、土砂崩れにより、道をふさいだ倒木や電柱を森林組合などの職員が重機で取り除くとともに、重症度によって治療の順番を決めるトリアージを実施。救護所のテントに運び込まれた負傷者に、医師や看護師が本番さながらに応急処置や搬送を手配する訓練が行われました。

また9月5日には、池田分館自主防災隊の防災訓練が実施されるなど、期間中、自主防災組織などで災害に備えて防災訓練が実施され、防災に

関する知識を深めました。



防災士スキルアップ研修会

防災士としての役割や今後の活動方法などについて情報共有し、防災士同士が横のつながりを作ることを目的に8月27日、防災士スキルアップ研修会が三好市役所で開催されました。研修課題として、「防災指導員より「防災士に期待される役割」について講演が行われた後には、三好市の自主防災組織の現状と防災士としての研修方法および活動方法などについて活発な意見交換が行われました。今後、防災士としてのスキルアップ研修会が継続して行われることが確認されました。



緊急地震速報の 訓練放送を行います



11月5日「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」を通じた、緊急地震速報の訓練放送を実施します。

緊急地震速報を見聞きして強い揺れが来るまでの時間はごくわずかであり、短い時間にあわてずに身を守る行動をとるためには、あらかじめどのような行動をとるかを知り、実際に行動をとって経験しておくことが大切です。

この機会に、ご家庭や地域などでの行動訓練にご活用ください。

緊急情報として伝達されるため、最大音量による放送となりますので、ご注意ください。

【訓練日時】

平成27年11月5日(木)
10時00分ごろ

※気象・地震活動の状況などにより訓練を中止することがあります。

【実施内容】

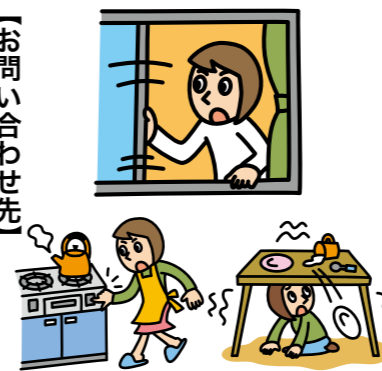
音声告知端末による緊急地震速報の訓練放送

【放送内容】

最初に「緊急地震速報チャイム(NHKチャイム音)」が流れます。
放送内容：「大地震です。大地震です。これは訓練放送です。」(3回繰り返し)

【屋内での対応】

▽家具の移動や落下物から身を守るため、頭を保護しながら大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる
▽慌てて外に飛び出さない
▽その場で火を消せる場合には火の始末をする
▽扉を開けて避難路を確保する



【お問い合わせ先】

三好市役所危機管理課
☎72・7625

秋季全国火災予防運動

【期間】11月9日～11月15日
【全国統一防火標語】
「無防備な心に火災がかくれんぼ」



火災現場での避難方法

- タオルやハンカチで口を覆い、煙を直接吸わないようにする
- できるだけ低い姿勢をとり、床スレスレに残っている空気を吸うようにする
- 鼻から吸って口から吐く呼吸を繰り返す
- 避難するときは、燃えている部屋のドアを閉めて逃げる
- いったん避難したら再び戻らない
- 煙で前が見えない場合は、壁に手を当てて方向を確認しながら避難する
- 下の階へ避難することが基本
- エレベーターは使用しない

住宅防火のちを守る 7つのポイント

- 【3つの習慣】
- 寝たばこは絶対にしない
- ストーブは燃えやすいものから離して使用する
- ガスコンロから離れる時は、必ず火を消す
- 【4つの対策】
- 逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する
- 寝具、衣類、カーテンは防炎品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために住宅用火災警報器等を設置する
- お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

【お問い合わせ先】

みよし広域連合消防本部(☎76・5119)
東消防署(☎79・2195)
池田消防署(☎72・0177)
西分署(☎86・1119)
祖谷分署(☎88・5551)

自然農法と希少性が評価 経産省ふるさと名物に選定 天空ノ山茶



経済産業省は8月27日、日本が誇る「ふるさと名物」として全国47都道府県の地方で作られる雑貨や食品など500品目を公表しました。応募のあった約1900品目の中から、作り手のこだわりや日本の伝統的な価値観が伝わってくるかなどが審査され、500品目が選定されました。徳島県内では4品目が選ばれ、三好市から「天空ノ山茶」が選定されました。

今後、選定された500品目は、海外でPR活動を行うほか、各品目の魅力やこだわりを紹介する本を作成し、国内外に配布されます。

天空ノ山茶とは？

三好市の標高300m以上の山間傾斜地に自生した茶樹を「天空ノ山茶」と言います。40度の斜面や石垣の間などから自生し、焼畑の後や日射が少ない場所でも生えるため、生命力が強いことが特徴です。

このお茶は、60haの栽培面積のごく一部からしか採る



ことができず、良質な茶が生育する自然環境の中でも限定された環境で育つ自生した茶樹に限定しています。

山城町大歩危と西祖谷山村有瀬で収穫して、「天空ノ山茶」としてインターネットを主にして販売を行っています。

お問い合わせ先

三好市役所農業振興課
電話 72・7617

連載 地域おこし協力隊活動報告 ④6

若者から見た集落の暮らし体験

大西 恵大朗



秋が近づいてきて段々と過ごしやすくなってきました。今回は9月に東京から訪れた大学生のスタディツアーの様子や彼らの体験を通じて感じたことを紹介します。

立教大学の観光学科の学生23名と一緒に4日間祖谷や大歩危と一緒に巡り、三好市の観光資源や集落の方の生活体験、地域の方の観光への関わり方を実際に現場で話を聞いたり体験してもらい、最終日には、彼らのテーマに沿ったスタディツアーのまとめ発表を行うというものでした。

道中に話を聞いてみると、東京から出たことのない学生がほとんど。四国や田舎に来るのが初めてという学生ばかりで、実際に学生たちと一緒に集落を巡り、まとめ発表の資料の作成を見学して感じたことは、年齢に関わらずに三好市の魅力として感じることが同じということ。僕自身観光で来られた方やツアーに同行してお客さんを案内する機会も多くあったのですが、結構年配の方が多く、「若い人たちがどういう風に感じるのかな」と思っていました。



集落の方々の話を縁側で聞き、一緒に作業をして一緒に休憩をする集落の生活体験のことを観光資源として捉え、彼らもそれを楽しんでいてくれたのを見て、そういった体験は世代に関わらず通用する三好市の魅力だと感じました。

そして初めて訪れた方が集落をただ訪れるだけではなく、訪れた方と集落をつなぐ間に、入る案内が必要ということをもとめて発表していて、その役割を担っていた僕のことを紹介してくれていたのがとても印象に残りました。

この秋からも外国人が集落を訪れるツアーがあり、今度、は国の違う彼らにも三好市の魅力を伝えられるように頑張りたいと思います。

四国まんなか交流事業 紙すき・水引体験と産業祭 参加者募集



【日時】11月15日(日) 8時~16時
【場所】三好市役所本庁舎前集合同(マイクロバスで四国中央市へ)
【内容】紙のまち資料館内を自由見学、紙すき・水引体験、マイクロバスにて移動し、四国中央市産業祭で自由行動

【参加費】無料(他施設内での飲食代や利用料は各自で負担ください)
【対象】小学生以上(小・中学生は保護者同伴)

【申込方法】氏名、住所、年齢、連絡先電話番号を記載の上、はがき、メールまたはファックスで申し込みください。(様式自由)

【定員】20名程度(申込多数の場合は抽選とさせていただきます)
【申込締切】10月30日(金)まで

【お申し込み・お問い合わせ先】

三好市役所地方創生推進課
電話 72・7607
FAX 72・7202
Eメール chihouseisuisin@city.tokushima-miyoshi.lg.jp
〒778-8501
三好市池田町シンマチ1500番地2

三好市民大学講座

入場無料



【日時】11月7日(土) 13時30分~15時
【場所】井川ふるさと交流センター3階ホール

【演題】「ぬくもりを感じて」

【講師】中倉茂樹 先生

【プロフィール】四国学院大学特別推薦入学選考『被差別部落出身者枠』第一期生。徳島県人権啓発青少年団体連絡協議会『止揚の会』事務局。徳島県人権・同和教育講師団・講師。徳島県人権エンタメ集団『友輝』リーダー

1977年徳島県吉野川市(旧麻植郡)山川町に生まれる。小学校時代にいじめを受け部分的記憶喪失になる。中学校時代に同級生がいじめられ不登校になり、毎日、彼の

家に様子を見に行ったが、教室に戻ってくることはなかった。そんな中、彼のお父さんがノイローゼになり自殺に追い込まれる。そのとき、絶対に許さんという怒りが込み上げてきた。高校時代に、人権集会で「部落民宣言」し、本当の仲間としてつながることができた。このとき感じたぬくもりをみんなに伝えられる人間になりたいと決意してから私の本当の同和問題学習が始まった。そして、待っていたのは差別との闘い。自分の経験や闘いを通し、全国みんなに同和問題学習はすべての人間が幸せになるための勉強であることを伝えて生きたい。そして、結婚差別と闘う今を語る。現在は、人権啓発の新しい手法(エンターテイメント)を仲間と考案中。

【お問い合わせ先】

三好市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課
電話72・3900